



## 自然と LOA

LOA とは、LIGHT OF ARCHE（ライトオブアルケー）の略です。ARCHE はギリシャ語で「根源」「始原」「世界の構成原理」という意味があります。また、生命の源であります「水」という意味もあります。由って、**LIGHT OF ARCHE（以下、LOA）**とは、「**根源の光、エネルギー**」ということです。

LOA 商品は万物の根源である普遍の光、エネルギーを素直に受け入れ、自然界にある諸元素に直接・間接に反応させています。LOA 商品を開発した目的は、「**自然と共生し、愛と調和と感謝に根ざした社会を実現する**」ための技術（商品）で自然と人の環境を改善することです。

根源とは宇宙、大自然のことですが、親しみ深い別の表現をしますと「神仏の力」とも言えます。人はなぜ神や仏に向かい合うのでしょうか？全ての人のところに何か下りてくると信じているからではないでしょうか。

これは遍く世界（宇宙）に存在していると思われているからで、いわゆる普遍的存在であるということです。普遍の意識、普遍のエネルギーで溢ち溢ちしているこの宇宙、LOA は普遍的に存在している無形で何物にも影響されることのない、精妙であらゆる潜在能力を持った無限の光、エネルギーなのです。このエネルギーの速さは光速を超していると思われ測ることはできませんが、偏在していますので「速さはない」とも言えます。

### **科学の道を少し進むと神から離れるが、さらに究めればこれに回帰する。（ルイ・パスツール）**

宇宙には一切を育む愛のぬくもり、一切を生む栄養や可能性がぎっしりつまっています。愛は風の中に、物質の中に、エネルギーの中にぎっしり込められています。叡智の源は愛です。存在そのものが愛なのです。愛が宇宙を貫き、還流して、行き渡ることが調和です。叡智とは、特別、格別な智慧であり、エネルギー、パワーです。そして、必要なすべての可能性を蓄えた全能的力を持ったものです。

**いかなるマテリアルがあっても  
いかなるテクノロジーがあっても  
愛の思いが無くては  
宇宙に何ひとつとして  
新たに存在し、創造の原理が  
働くことはない**

すべてのものに心があります。「物質の科学と心の科学を融合させる」ことが肝要です。愛と物質的なものは切り離すべきものではありません。愛は各次元に創造をなし、生命を吹き込み、表現形態を実現させていく叡智です。

物質的な知識のみが科学に偏っていくと、自然の真の姿を見失うこととなります。物質には純粋潜在意識としての心があり、愛の意識があるからです。三次元世界に生きる人間の頭在意識下の知識はほんの一部に過ぎません。



万物は夫々の種に特有の**放射エネルギー**を持っています。環境の善し悪しでそのエネルギーが変化します。これを放射エネルギーといいます。放射エネルギーとは、物質の質、内容、機能を表すエネルギーのことです。

基本放射エネルギーとは、生命体（動植物や微生物）が健全な生命活動をし、健全な成長をして、健全な種としての表現をする（例えば、トマトは昔食べたあの懐かしいトマトらしいトマトの輝き、香り、味がする）ための放射エネルギーレベルのことです。

#### エネルギーの分類

- ① 物理的、化学的エネルギー : 運動エネルギー、位置エネルギー、熱エネルギー
- ② 物質の質、内容、機能に影響を与えるエネルギー : 環境エネルギー (LOA)

**環境エネルギー**とは、生命体が活動している場のエネルギーと波動内容の高低の総合的エネルギーのことをいいます。

基準の持ち方、使い方、判断の仕方としては、そのものの放射エネルギーがその種の放射エネルギーレベルより高いか低いかで判断します。

#### 【自然・環境・健康について】

**自然**とは、おのずからそうになっているさま。おのずからなる生成・惹起させる本具の力としての、ものの性（たち）。本性。本質。

**環境**とは、人間又は生物をとりまき、それと相互作用を及ぼし合うものとして見た外界。自然的環境と社会的環境がある。

**健康**とは、身体に悪いところが無く心身がすこやかなこと。

〔完全で健康な生=成長期（18）歳 x（7）倍=（126）歳〕 ※野生の哺乳動物の場合は約7倍

**病気**とは、生物の全身または一部分に生理状態の異常を来し、正常の機能が営めず、また諸種の苦痛を訴える現象。

※医学上は数万種の慢性及び退行性の病気があるが野生の哺乳動物界はわずかしかない。

（広辞苑他より）

私たちが考える自然、環境、健康は・・・安心<健康<食べ物<土<環境<自然です。そして、夫々の「良い基準」、例えば「良い健康の基準」は・・・、**健康（人）の基準は食品（植物）の基準、食品の基準は環境（土）の基準**を持つことが大切です。



LOA の環境下に置くと、見える、見えないに拘わらず共生、調和、エントロピー縮小の方向へ変化していきます。そして、万物は賦活（機能を活発にし、活力が与えられる）する方向へと変化し回帰していきます。私たちの体は信じられないほどの潜在能力（叡智）を持っています。常にそれらに効果的に働きかけ、よりよい効果を引き出します。

**人間の目で見える=信じられる・・・？**

**人間の目で見えない=信じられない・・・？**

### ◎調和と共生・共存

例えば、私たちはインフルエンザにかかると殆どの方が医者へ行き、注射を打ってもらい、薬を飲みます。その注射や薬で治ると思つてのことですが、残念ながら注射を打つても薬を飲んでもウイルスは死にません。なぜならウイルスは生物でもなく、物でもありません。その中間の摩訶不思議な存在です。ウイルスを薬で殺すことはできませんが、インフルエンザウイルスは体温が 37℃で活発になり、38℃以上になると動かなくなります。インフルエンザウイルスが体の中に入ると、体は先ず熱を出します。38℃～40℃の熱を出してウイルスの動きを止め、汗や尿として外へ出そうとします。これが潜在能力（叡智）の現れです。

私たちは自分が生まれる時、自分の主治医と共に生まれてきます。その主治医とは、免疫機能、自然治癒機能、自己活性機能などのスーパーシステムです。健康と病気は対極に位置しているものではありません。生きているのですから、健康であったり、病気になったりもします。大事なことはその病気を自ら治せるかどうかです。病気は医師や薬は治してくれませんが、自らの力（エネルギー）で治るのです。（※医師や薬が不要という意味ではありません）

LOA によって環境のエネルギーが高まると、人間はじめ動植物などにとっての有効微生物が活性し、ヒト病原性菌は抑えられます。環境のエネルギーの高まりと共にヒト病原性菌の活動が抑えられ、眠りに入ります。或いは有効微生物等の活性によってヒト病原性菌は静かになります。ここに、存在するあらゆるものが調和し、共生・共存していけるヒントがあるように思えます。

**昔の人は、大自然の奥に恐怖、畏れを感じていたことでしょう。自然の奥にある目には見えない真実の科学の世界です。自然とか宇宙の中に流れる優しい旋律です。**

**（Cosmosflavor より）**

### ◎すべてのものが調和する多様性のバランス（中庸）

LOA は、私たちが普段何気なく使っている材料、例えば水、空気、土、電気、化石燃料、鉱物などのバランスを良く（中庸に）してくれます。そして、それらの機能・働きが変わり、結果が違ってきます。足したり引いたりせず、バランスの良い元の状態へ戻してくれます。物質（有機物、無機物）の持つ本来性・能力を存分に引き出してくれる環境エネルギーを応用した技術、製品が LOA（LIGHT OF ARCHE）です。老若男女を問わず、産業の別を問わず、動物、植物、微生物など全てに万能的に使えることが最大の特長です。



LOA は調和を基本として、  
ことはありません。万物すべてに  
ただ場や位置、思考などの  
歪があるために「問題」という  
あらゆる問題の解決の為に



相手を否定したり排除したり、敵対する  
存在の意義があり、役割があるはずで  
バランスが良くなく、目的などに偏りや  
結果を残しているだけです。  
LOA は在ります。

たとえ私たちの思考が悪くても、意識や感情が低くても、或いは否定的であっても満遍なく効果的に作用します。また、LOA を使うための多くの知識や経験を必要としません。なぜなら、私たちの体には信じられないほどの叡智（潜在能力）が蓄えられていますので、霊的、精神的、感情的、肉体的なすべての問題は環境エネルギーによって自らが癒されるのです。

### ◎環境エネルギーの有用性

更に根源のエネルギーを使うことのすばらしいことは、私たちが心配するような副作用的なものは出てこないことです。それはすべてを調和させる方向しかないからです。  
そして、ビックリするほど短時間に、疑問に感じるほどに圧倒的な中和（解毒）作用と中庸（治癒）の反応を起こします。しかしながら、前述の通り副作用などマイナスな面は伴いません。

LOA 商品は環境エネルギーを私たちの生活次元（3次元）に呼び込み、変換、増幅するアンテナであったり、チューナ・ボリュームのような働きをしてくれます。  
LOA 商品を目的に合わせて使うことにより、その環境下にある物質（有形・無形、有機物・無機物の別に拘わらず）を完全な方向（中庸／多様性のバランス）へと誘導してくれます。その結果、元の健康、健全、安定へと戻ります。『安心の種』の所以はここにあります。

### ◎LOA 商品を開発した目的・理念を果たすために

- ・地球と人間社会が抱えている心のあり方と環境問題を認識し、その解決を図る。
- ・次代を担う子どもたちに遺せる宝（地球、心）を蘇生し、守り貴める。

以上

平成 23 年 5 月 25 日